第232号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部・5円

なかさと

11月1日現在

人口	7,325 (+ 7)
男	3,602 (+ 9)
女	3,723 (− 2)
世帯数	1,674 (+ 1)

カッコ内は前月との比較

関心をよんだ村議会議員選挙

かってない投票率 —九六・六三%—を記録

十一月十九日任期満了にともなう中里村議会議員一般選挙は去る二日、村内十四の投票所で午前七時より一斉に行われ、即日開票の結果十八名の議員の当選が決まった。十八名の定員に対して二十六名が立候補しての激しい選挙戦の結果選ばれた議員は前議員六名、元議員二名、新人十名となっており、新人の当選が目立っている。

又、選挙当日は天候に恵まれた事もあってか、投票率は九六・六三%と、かって中里村で行われたいかなる選挙にも上廻る高率を記録した。ちなみに当日の有権者は五、一九九人。投票総数五〇二四票のうち有効投票数四九九七票、無効投票数二七票であった。

当選された議員の皆さんに次の三点についてアンケートをお願いいたしました。

(一)今の中里村に最も必要と思われる事は何ですか。
(二)今後四年間にあなたが最も力をいれてやってゆきたい事は何ですか。
(三)それ(二の内容)を実行するについての具体策がありましたらどうぞ。

以下新議員紹介
(順不同 敬称略)

当 大島 芳信
二九〇、三三九
山崎 55才
貸屋業
無所属 前

(一)利権と派閥のない明るい村政の確立。
(二)(イ)十二峠の早期貫通と三五三号線の拡巾整備
(ロ)倉俣地域と三五三号線を結ぶ倉俣橋の新設
(ハ)広域行政の中で新設したい三面野球場の村内誘置。
(三)(イ)四市町村十二峠開削促進協議会での統一行動の成果もあり、早期完成の見通しは明るい。
(ロ)倉俣地区の発展と産業物資搬出など、この橋の実現は急務であり、ようやく調査費も予算化したので国、県に対する働きかけを強力にすすめたい。
(ハ)十日町広域消防、津南御神荘など村も人口割で応分の負担金を出している。当局も議会も十日町、津南に協力を求め早期に実現すべきだ。

当 吉楽 富徳
二五七、〇五七
上山 63才
農業
無所属 新

(一)「連帯性の高揚」。中里村が誕生して二十年を迎えた契機として、村ぐるみの運動とし住みよい明るい村の建設に邁進しなければならないと考えています。
(二)魅力のある農村建設
(三)近代化農業と観光開発を結びつけ、スポーツ及び娯楽施設を設け、若者達が定着できる魅力のある農村の建設に全力投球をしたいと思っています。

当 広田 寛吾
二五三
山崎 45才
商業
無所属 新

アンケートの回答なし。

当 南雲 宗司
二四四、二三三
程島 45才
農業
無所属 新

(一)心と心のつながりと若い人に信頼される事。
(二)(イ)公共事業の増大をはかりたい。
(ロ)国、県に多くの助勢を要求する。
(ハ)特に校舎の完備も実現し、教員と児童が充分な力を発揮できるように。

当 上村 賢造
二三六
田中 63才
法人役員
無所属 前

(一)村民の一致結束した「和」である。徒に蝸牛角上の争いを繰返しているべきでない。
(二)(イ)国道三五三号線の早期完工と併せて観光の開発、商業の発展を期したい。
(ロ)冬期間の交通確保を図りたい。
(ハ)村民の理解の上にたって一村一中学校の実現を図り、学校教育の充実を期したい。

当 中島 迪治
二二九
本屋敷 64才
農業
無所属 元

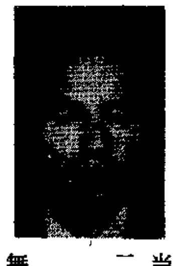
(一)和による議会活動。
(二)村民の要望実現に努める事。

当 吉楽実太郎
二二八、九四二
田沢本村 53才
農業
日本共産党 前

アンケート回答なし。

当 山田 章次
二一九
土倉 60才
農業
無所属 前

(一)村民融和を計り、村の繁栄に寄与できる議会政治をつくる事。
(二)国道三五三号線の早期完通並びに改良。
(三)村長並びに建設課長と緊密な連絡、了解を得ながら、塩沢町会議員と話し合いを重ね、近隣町村長の一丸となった政治力で各機関に陳情を重ねる事が第一と思う。



当 山本 茂穂
二一九
桂 44才
農業
無所属 新

(一)派閥の解消。常に建設的な見地に立ち、お互いに足の引張りっこは止めなければならない。
(二)(イ)体育施設の新設。
自由に利用できる体育専門の施設が健全な教育の上から必要と思う。
(ロ)産業開発
道路の拡巾整備が産業開発の上から重要ポイントである。
(ハ)社会福祉関係
村独自で恵まれない人達、家庭に財政の許す限り経済的援助並びにこれらの人達に心の支となるような施策がもう少し必要なのではないか。

当 村山 善作
一七六、五五八
田沢本村 53才
農業
無所属 新

アンケート回答なし。

洗心

孤独の底をぬく

斎藤大馨

踊る踊る世界の若もの。寒熱を吹き飛ばして、熱っぽいゴーゴー・ダンス、踊るのは日本に限らず世界的な風潮らしい。

どのテレビのチャンネルをひねってみても、歌と踊が飛び出してくる。早朝はそうでもないが、もう八時になると、娯楽番組みが登場し夜の十一時半まで延々とつづく。

毎日、毎日、よくもまああきないものだと感服する。中年の主婦までが、ハナ唄まじりに家事をやる。オヤジはオヤジで帰宅するなりテレビにかじりつく。まるで新聞はテレビの番組みを見るためにあるような印象を受ける。視聴率は一々だとほくそ笑むのはスポンサーとTV会社だけである。

専門家にいわせると、生活水準の向上にともない、今後ますますレジャ産業はのびると、うつつを言っていたのも、一時的現象で、あれだけ普及したボーリング場も線香花火のように姿を変えあわれな存在を残している。

いつの時代でも、娯楽は生活についてまわる。とりわけ生存競争がはげしく、世の中が世智辛くなればなるほど、娯楽の地位は高くなる。ステレオやカラー・テレビの普及が、急速にのびたのもその実証であろう。

娯楽は両刃のヤイバで、人間を生かしもすれば殺しもする。もともと娯楽は、あすの英気を養うもので、娯楽自体が目的ではない。朝からハナ唄まじりに食事をとっているとしたら、娯楽に流されて人間性がマヒしている。娯楽がストレスを解消すると思うのは間違いで、却って人間性をねむらされる。現実からの逃避で、逃避からは人間の絶対満足は得られない。勢い娯楽を追いまわして見はてぬ夢を見ている。娯楽のために人生はあるのか、よりよく人生を生きるために娯楽があるのか、まったく錯倒している。

よろしく青年時代は、一度でもよいから孤独になることだ。あらゆる外界の交渉を断って、自分自身を見つめることだ。娯楽がなくて生きられぬのは娯楽をツエにしているからだ。

生あるものは必ず死がある死なないものは生きてはいない。造花は生きていない証拠に散らない。しかも私の死は、いつくるかもわからぬ。死は入学試験に失敗したというような、部分的なものではない。一瞬にして私の全存在を否定し去る。

他人の死ではなく、私の厳粛な死から逃避せずにトコトンと取り組もう。私は流れに浮かぶウタカタのように、かつ消え、かつ浮かぶ。ウタカタ自身は消えたり結んだりするが、そんなことにかかわりはなく、水は永遠に流れてゆく。名残り惜しいが一度孤独の底をぬいて死んでみることだ。真実に生きるとは、どういうことなのか。自分だけが生きるのではなく、一味平等の世界がわかる。

いったい私はどこから来たのか。突然異変ではあるまい。両親から生まれたもので、いまの両親その両親、そのまた両親と私のいのちは無限にさかのぼる

さらにいのちを子、孫、ヒ孫と無限に伝えてゆく。二十いく代までさかのぼると、みんな私の兄弟姉妹であることにうなずかされる。

人生の究極の目的は、私心のないともに生き、ともに生かされる一つの世界を、持ち場持ち場で多彩にかがやかしてゆくことにある。いうところの一隅を照らす灯になることだ。

中里文芸 十一月投稿

熟れ柿に鵯群なす空屋敷　栄山
芒がまねくこそばゆい逃亡記　おのえ
地方選たけなわとなり秋深し　海人
柿むいて貧しき心つるしけり　寂子
矢の如く地をさし通す秋の雨　芒月
樹間より透けくる光初霜立つ　泥児
菊咲いて孫七人の安堵かな　カウ
川鳴りして山鳴りがして柿が干る　大泉
山茶花ののばせば触れるバスの窓　とし子
富士白う見えて空澄む枯野かな　時習
草じらみ胸まで付けて茸刈り　追風
宇廻路の地図の真上を鳥渡る　深雪
野菊咲くこころの襞に咲くごとし　淳子
日当りをえらんで漬菜洗い居り　鳴石

人生往来

◎産声

氏名	父の名	部落
山田久美子	勝治	土倉
井ノ川秀幸	幸夫	如来寺
小林功二	勇	土倉
中沢広典	悦夫	通り山
関沢健一	春雄	倉下
山田幸英	正人	荒屋
村山哲一	晴好	堀之内
富井徹	善一	市之越
保坂アケミ	勝次	宮中
井ノ川まゆみ	和夫	如来寺

◎高砂

	氏名	年令	部落
新郎	羽鳥明	(25)	新屋敷
新婦	星名澄子	(26)	川西町
新郎	吉楽喜治	(19)	宮中
新婦	徳永さち子	(21)	十日町
新郎	南雲信雄	(31)	重地
新婦	井口かづみ	(17)	津南町

◎昇天

氏名	年令	部落
南雲義次	(51)	本屋敷

田沢剣道少年団

二大会で活躍

去る十九日、北魚沼小出郷体育館で行われた第十三回二市三郡剣道大会小学生の部で田沢小学校Aチームが優勝。又同Bチームも三位に入賞。

個人戦でも同小学校の清水芳秀君と山本龍正君がそれぞれ一、二位を獲得という輝やかしい成績をおさめた。

又、同二十日、川西町中学校で行われた第二十回郡市剣道大会でも団体戦で田沢小が優勝。中学の部では団体で一、二位、個人戦でも上位三位を独占した。

"郵便番号は住所の一部です 忘れずに書きましょう"

あなたは郵便番号簿をお持ちでしょうか。郵便局では五十年度版を窓口に用意してございます。必要な方はどうぞ自由に御利用下さい。

「なかさと」をいつまでもお手元に

毎月発行されている館報「なかさと」を保存していただくため、このほど公民館から各世帯に綴表紙が配付されました。この綴表紙を利用して、いつまでも「なかさと」をあなたのお手元において下さい。

(俗信)

昔から言われ信じられてきたこと

小柳定夫—採集—

◇かえり花(二度咲き)が咲けば雪は降りのびる。
◇かなっこり(つらら)が下れば根雪になる。
◇嫁入りのとき嫁と嫁が道で出逢うと勝負がつく。
◇自分の子の葬らいについてゆくもんでねえ。
◇人のまわりを廻るんでねえ。
◇赤猫が棺の上にあがると死人が飛び出す。
◇ちゃあめえに女の人がくるとその日は人の出入りが多い。
◇ジロで縄をもすと人にねじられる。
◇戸口にニンニクを下げておけば風邪のかんさまは入ってこない。
◇よそに出て六晩泊り七日帰りするもんでねえ(「彼岸さま」と同じという)
◇おかね様のうら日(翌日)に新しい仕事を始めたり旅立ちはよくねえ。
◇おかね様の日に始めた仕事は成就しねえことはねえ。
◇厄年に生れた子は親かその子が苦労する。
◇嫁入りした後で雨が降ると出戻りしない。
◇嫁入りに葬らいに会うと縁起がよい。
◇昼間ムカシ(昔話)を語るとねずみがションベンをひっかける。
◇家のまわりに桑とバラを植えておくと雷は落ちない。
◇嫁の一つまきり(一才年上)はかねの草鞋ばきでも探せ
◇お寺の使いは一人で行くもんでねえ。又、同じ人が二度行ってはならない。
◇左手上、右手下に大箸をジロの火にかざすとイサケ(争い)がおさまる。
◇犬は三日飼えばその人の恩は忘れない。

当 上原 国一
一九六
上山 62才
農業
無所属 元

(一)(イ)村民同志の融和。

(ロ)自治行政の本旨である「執行者と議会」の本分を忠実に履行すること。

(二)中里村総合発展を基準とした村ぐるみの「対話の政治、公正な政治」の推進。

(三)(イ)議会の責任において行政の実態を正確に報告し、村民の意志を政治の面に現すこと。

(ロ)村内各種公共施設（自治行政関係）の積極的参与。

(ハ)対人関係の反省、融和。

当 山岸巳之政
二〇六
堀之内 50才
農業
無所属 前

(一)村民の融和を図り、明るく明朗な村政。

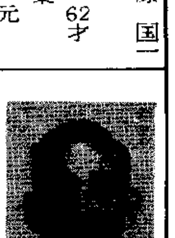
(二)国道三五三号線の早期全線開通を始めとする村内道路の改良促進と冬期の無雪道路の確保

(三)挙村一致による国会議員先生方を通じての国県予算の獲得。

当 斎喜 文平
一七一
倉俣 52才
農業
無所属 新

(一)議員並びに執行部は村民の信頼を受けるように行動すべきであり、村民の生活を守り恵まれた地域の一人一人を豊かな人間性に造りあげてゆく事であると考える。

(二)無雪道路の伸張、完全化並びに倉俣地域より三五三号線に通じる環状道路又は橋を完成するべく努力する。



当 小林 豊政
一八一
荒屋 51才
農業
日本社会党 前

(一)派閥論争を排除し、住民自治の原則に立つ政治姿勢の確立と村の将来的目標の設定。

(二)(イ)農業を中心としての産業立村である限り、村民生活を守り高めるため、そこに力点を置く。

(ロ)生活環境整備。

(ハ)農村文化の高揚。

(三)(イ)農、商、工とも各々長期的な重要目標を一つ設定し、村民運動的な意欲をつくる事。

(ロ)平場と山地は違う環境にあり、生活道路は農道といえども整備計画をつくる。

(ハ)青年、婦人に政治経済、郷土文化等に財政援助をする。

当 山田 虎一
一九九
清田山 52才
農業
無所属 新

(一)お互いの話し合いによる相互理解と村民のための村政。

(二)地域の開発（特に山間地）を重点に道路の整備拡張と苗場山麓の高冷地野菜団地の早期実現に努力する。

当 広田 謙治
二〇一
高道山 54才
農業
無所属 新

(一)先ず派閥を解消し、健全なる議会運営と議員一体となって団結して礼をもって村の発展のために協力すること。

(二)農林村道の整備舗装と土地基盤の整備。

当 服部安二郎
一七四
如来寺 51才
農業
無所属 新

(一)派閥を解消して村の和をはかり、明るい中里村づくりをやる。

(二)農地の基盤整備と農道舗装の促進に力を入れ農作業の機械化によって省力化をはかり若い後継者を育てる。

(三)補助率を上げて自己負担金の軽減をはかる。借入金の利率をできる限り低くすること。それには利子補給も考えて行かなければならない。

当 高橋 忠雄
一九三
芋川 51才
農業
無所属 新

(一)住民が誇りをもてる真に平和で明るい村づくり。

(二)苗場山麓開発の促進と水資源の確保。

年金を受けられる 正しい経営移譲とは

経営移譲年金の給付が来年の一月から開始されます。ところで、せっかく経営移譲しても、それが適格でなかったために年金を受ける事ができなかった等という事のないように経営移譲というものの考え方、その時期、方法などについて説明しましょう。

◎経営移譲の時期と支給開始

保険料を納めた期間等を一定期間満たした後であれば六十才前に経営移譲をしてもかまいませんが、年金は六十才から支給されます。又、六十才から六五才の間に経営移譲したときは、その時から支給されます。

◎経営移譲の考え方

基準日（経営移譲が終了する日の一年前の日）から一年の間に農地等を処分して農業経営主としての地位を譲り渡すことで言い換えますと、基準日に自分の農業経営に供していた全ての農地等（処分対象農地等）の権利名義を耕作目的で自作地も小作地も全て譲り渡すことです。但し基準日前に貸していた農地等は処分する必要がありません

◎経営移譲の相手方

経営移譲者が直系卑属のうち一人の後継者かまたは他の適当な農業経営主等（第三者）のどちらかを選択によって決める事になっています。

◎農地等の処分の方法

自作地の場合―自分の後継者に移譲する時は譲渡します。又、他の農業経営主に移譲する時は売り渡すか貸すかします。

小作地の場合―自作地と同じように自分の後継者や他の農業経営主に使用収益する権利を移転します。なお、地主に返還しても経営移譲とみなされます。

◎基準日後に取得した農地等

農地等を基準日後に新たに取得したり小作に出していた農地等の返還をうけた時はその農地等も処分します。

◎転用目的の処分

基準日後に処分しなければならない農地等の一部を転用目的で処分した時は、経営移譲とはみなされず、年金は支給されませんからご注意下さい。

又、この経営移譲年金の支給の要件に保険料の搬出要件があり、保険料を収めた期間等が二十年以上という原則があります。しかし、制度が発足した時すでに一定年令以上の人は六十才になるまでにこの二十年という期間を満たすことができませんので、年令によっては五年から十九年まで、その期間が短縮されています。例えば大正10年1月1日以前に生れた人は六十才までに保険料を納めた期間等がすべて五年あればよいこととされています。又、大正10年1月2日から大正11年1月1日までに生れた人は六年……というようにその人の生年月日によって二十年という期間が短縮されています。ですから、先に説明した経営移譲をいくら正しく終了しても、この保険料を納めた期間等が生年月日によって定められた期間を満たしてからのちに経営移譲しないと経営移譲年金が支給されませんのでとくに気をつけて下さい。

農業者年金の保険料を一年間分一括して前納する事ができるようになりました。一括前納いたしますと一年間分の保険料一万九千八百円が五六〇円割引となり一万九千二百四十円を納付すればよいことになります。一括前納を希望する人は昭和51年1月分～12月分までの保険料について今年の12月31日迄に納入して下さい。

以上の事について不明な点がありましたら農業委員会におたずね下さい。

―老人クラブ功労者―

高橋さんが喜びの受賞

去る十月十五日新潟市の県民会館大ホールに老人クラブ会員や老人福祉関係者約一五〇〇人が参加して第十一回県老人福祉大会が行われた。この席上、当村芋川の高橋源平さん(77)が老人クラブ功労者表彰を受賞した。

国勢調査の概況

―村の人口七、一二七人 世帯一、六九九世帯―

去る十月一日に実施した昭和50年国勢調査の結果による中里村の世帯及び人口の概要は次の通りである。

〔中里村の人口〕

今調査日現在における中里村の人口は七、一二七人で、昭和45年の同調査時の人口より四三一人減少している。これを男女別にみると男三、四八一人、女三、六四六人で前回に比べるとそれぞれ二三四人、一九七人減少している。女より男の減少率が大きくその割合いは女百人につき男九五・五人となっており、この比率も前回の九六・六人に比べわずかであるが低くなっている

〔世帯数〕

今調査日現在における中里村の世帯数は一、六九九世帯。前回の調査以来二十世帯の減少となっており、一世帯あたりの人口は四・四二人と前回の四・四五人よりもわずかに減少した。

人口の推移

	世帯数	人口	昭和30年を100としたとき	
		総数		
大正 9	950	5,624	56.8	57.0
14	1,029	6,056	61.5	61.4
昭和 5	1,085	6,515	64.9	66.1
10	1,207	7,196	72.2	73.0
15	1,203	7,340	71.9	74.4
22	1,318	8,088	78.8	82.0
25	1,326	8,166	79.3	82.8
30	1,672	9,863	100.0	100.0
35	1,711	9,161	102.3	92.9
40	1,705	8,341	102.0	84.6
45	1,699	7,558	101.6	76.6
50	1,679	7,127	100.4	72.3

昭和50年国勢調査（概数）と昭和45年国勢調査との比較

	昭和50年国調				昭和45年国調				差引増減				差引増減率(%)			
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
芋沢	40	88	90	178	36	88	87	175	4	0	3	3	11.1	0	3.4	1.7
田沢	67	138	149	287	66	135	141	276	1	3	8	11	1.5	2.2	5.7	4.0
東田沢	28	50	54	114	29	68	62	130	△ 1	△ 8	△ 8	△ 16	△ 3.4	△11.8	△12.9	△12.3
豊里	8	17	13	30	8	16	13	29	0	1	0	1	0	6.3	0	3.4
如来寺	84	175	189	364	78	186	202	388	6	△ 11	△ 13	△ 24	7.7	△ 5.9	△ 6.4	△ 6.2
桂	33	59	74	133	32	60	82	142	1	△ 1	△ 8	△ 9	3.1	△ 1.7	△ 9.8	△ 6.3
上山	116	248	247	495	106	247	235	482	10	1	12	13	9.4	0.4	5.1	2.7
田中	86	171	201	372	87	180	206	386	△ 1	△ 9	△ 5	△ 14	△ 1.1	△ 5.0	△ 2.4	△ 3.6
小原	51	116	123	239	50	123	121	244	1	△ 7	2	△ 5	2.0	△ 5.7	1.7	△ 2.0
千溝	71	145	153	298	64	129	150	279	7	16	3	19	10.9	12.4	2.0	6.8
荒屋	68	154	141	295	63	145	123	268	5	9	18	27	7.9	6.2	14.6	10.1
山崎	93	178	213	391	101	171	200	371	△ 8	7	13	20	△ 7.9	4.1	6.5	5.4
通り山	60	133	150	283	57	136	162	298	3	△ 3	△ 12	△ 15	5.3	△ 2.2	△ 7.4	△ 5.0
桔梗原	9	21	20	41	9	17	20	37	0	4	0	4	0	23.5	0	10.8
高道山	29	67	74	141	27	69	65	134	2	△ 2	9	7	7.4	△ 2.9	13.8	5.2
朴木沢	18	47	39	86	17	49	43	92	1	△ 2	△ 4	△ 6	5.9	△ 4.1	△ 9.3	△ 6.5
朴木沢新田	5	12	12	24	5	14	17	31	0	△ 2	△ 5	△ 7	0	△14.3	△29.4	△22.6
市之越	28	70	63	133	28	69	60	129	0	1	3	4	0	△14.5	5.0	3.1
たかば	10	20	19	39	10	28	19	47	0	△ 8	0	△ 8	0	△28.6	0	△17.0
白羽毛	23	54	48	102	28	66	55	121	△ 5	△ 12	△ 7	△ 19	△17.9	△18.2	△12.7	△15.7
程島	20	50	45	95	21	55	54	109	△ 1	△ 5	△ 9	△ 14	△ 4.8	△ 9.1	△16.7	12.8
東田尻	38	89	93	182	39	87	104	191	△ 1	2	△ 11	△ 9	△ 2.6	2.3	△10.6	4.7
角間	26	44	49	93	25	47	48	95	1	△ 3	1	△ 2	4.0	△ 6.4	2.1	△ 2.1
藤沢	10	20	19	39	10	28	23	51	0	△ 8	△ 4	△ 12	0	△28.6	△17.4	△23.5
倉下	9	18	22	40	10	21	21	42	△ 1	△ 3	1	△ 2	△10.0	△14.3	4.8	△ 4.8
土倉	23	50	42	92	24	55	48	103	△ 1	△ 5	△ 6	△ 11	△ 4.2	△ 9.1	△12.5	△10.7
田沢地区計	1,053	2,244	2,342	4,586	1,030	2,289	2,361	4,650	23	△ 45	△ 19	△ 69	2.2	△ 2.0	△ 0.8	△ 1.4
芋川新田	10	21	27	48	10	19	30	49	0	2	△ 3	△ 1	0	10.5	△10.0	△ 2.0
芋川	34	86	78	164	40	99	81	180	△ 6	△ 13	△ 3	△ 16	△15.0	△13.1	△ 3.7	△ 8.9
原町	10	19	12	31	10	21	17	38	0	△ 2	△ 5	△ 7	0	△ 9.5	△29.4	△18.4
新里	7	15	7	22	8	20	8	28	△ 1	△ 5	△ 1	△ 6	△12.5	△25.0	△12.5	△21.4
倉俣	85	181	186	367	82	186	192	378	3	△ 5	△ 6	△ 11	3.7	△ 2.7	△ 3.1	△ 2.9
重地	69	143	148	291	71	164	171	335	△ 2	△ 21	△ 23	△ 44	△ 2.8	△12.8	△13.5	△13.1
牧畑	0	0	0	0	9	25	23	48	△ 9	△ 25	△ 23	△ 48	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0
西田尻	6	7	7	14	9	12	10	22	△ 3	△ 5	△ 3	△ 8	△33.3	△41.7	△30.0	△36.4
西方	9	12	18	30	11	25	28	53	△ 2	△ 13	△ 10	△ 23	△18.2	△52.0	△35.7	△43.4
小出	46	91	101	192	51	97	115	212	△ 5	△ 6	△ 14	△ 20	△ 9.8	△ 6.2	△12.2	△ 9.4
下山	19	30	50	80	19	42	50	92	0	△ 12	0	△ 12	0	△28.6	0	△13.0
清田山	26	55	53	108	28	67	61	128	△ 2	△ 12	△ 8	△ 20	△ 7.1	△17.9	△13.1	△15.6
倉俣地区計	321	660	687	1,347	348	777	786	1,563	△ 27	△ 117	△ 99	△ 216	△ 7.8	△15.1	△12.6	△13.8
田代	44	77	83	[illegible]	47	92	98	190	△ 3	△ 15	△ 15	△ 30	△ 6.4	△16.3	△15.3	△15.8
阿寺	0	0	0	0	5	10	9	19	△ 5	△ 10	△ 9	△ 19	△100.0	△100.0	△100.0	△100.0
宮中	102	199	200	399	101	198	225	423	1	1	△ 25	△ 24	1.0	0.5	△11.1	△ 5.7
堀之内	56	122	154	276	65	146	155	301	1	△ 24	△ 1	△ 25	1.5	△16.4	△ 0.6	△ 8.3
本屋敷	65	123	117	240	71	136	134	270	△ 6	△ 13	△ 17	△ 30	△ 8.5	△ 9.6	△12.7	△11.1
新屋敷	28	56	63	119	32	67	75	142	△ 4	△ 11	△ 12	△ 23	△12.5	△16.4	△16.0	△16.2
貝野地区計	261	500	534	1,034	274	657	598	1,155	△ 13	△ 57	△ 64	△ 121	△ 4.7	△10.2	△10.7	△10.5
中里村合計	1,679	3,481	3,646	7,127	1,699	3,715	3,843	7,558	△ 20	△ 234	△ 197	△ 431	△ 1.2	△ 6.3	△ 5.1	△ 5.7

君子は交わり絶つも悪声を出ださず